

平成 29 年度 青葉区 運営方針

I 基本目標

『住みつづけたい・住みたいまち青葉』の実現

～ 青葉クオリティプロジェクトの推進 ～

青葉区は、計画的に整備された美しい街並みや豊かな自然、充実した交通網、活発な地域の力など、様々な魅力にあふれたまちです。しかし、住民および地域の担い手の高齢化や若い世代の減少、住宅や都市インフラの老朽化など、避けられない問題にも直面しつつあります。

このすばらしいまちを次の世代に確実に引き継いでいくためには、現在の青葉区のブランド力を維持するとともに、将来を見据えた先進的な取組を実施していく必要があります。

青葉区では昨年度、「横浜市中期 4 か年計画（2014～2017）」の基本施策を踏まえつつ、青葉区の特徴を生かした独自の取組「青葉クオリティプロジェクト」を立ち上げました。29 年度も、引き続きプロジェクトを推進し青葉区の魅力をさらに高め、「住みつづけたい・住みたいまち青葉」の実現を目指します。

II 目標達成に向けた施策

青葉クオリティプロジェクト 5 つの柱

1 魅力いっぱい！ 青葉ブランドプロジェクト

青葉区の特徴を区内外に発信し、街の魅力を定着させます。また、あたたかい雰囲気の中、快適に乳幼児健診等を受けていただけるよう、福祉保健センター 1 階のリニューアルを行います。

2 安全・安心！ 防災・防犯・美化プロジェクト

防災や防犯の事業を通じて、区民の皆様の安全・安心を守るとともに、美しい街づくりを推進します。

3 すくすく・いきいき！ 健やか暮らしプロジェクト

「あおばこどもシステム」や「地域包括ケアシステム」等の推進により、誰もが安心して健やかに暮らせる地域づくりを進めます。

4 彩りあふれる！ 花と緑プロジェクト

全国都市緑化よこはまフェアの開催にあわせ、各事業の広報や支援を行い、花と緑のあふれる街づくりを推進します。

5 住み続けたいまち！ 次世代郊外プロジェクト

少子・高齢化、人口減少などを踏まえ、次世代に向けて持続可能な住宅地の再生を図ります。

III 目標達成に向けた組織運営

区の基本目標である「住みつづけたい・住みたいまち青葉」を実現するために、窓口サービス等の基本業務を正確・迅速・丁寧に行うとともに、柔軟かつ意欲的な組織運営を行います。また、区民の皆様とともに課題解決に取り組む「地域連携力」、組織の垣根を越えて互いに協力する「チーム力」、互いに学び合い、区民の皆様に寄り添う「職員力」を高めて、「オール青葉」で業務や事業に取り組めます。

地域連携力を高める

地域と「顔の見える関係」を築き、地域の実情や課題を共有しながら、地域課題の解決に取り組めます。

また、地域の組織や団体と積極的にコミュニケーションをとり、地域に貢献する取組を企画提案し、ともに実施します。

チーム力を高める

組織内のコミュニケーションを活発化させ、議論を重ねながら、組織の垣根を越えて互いに協力し支え合う組織づくりを進めます。

また、事務事業の見直しや効率的な業務執行にも積極的に取り組めます。

職員力を高める

職員一人ひとりが区民の皆様の気持ちに寄り添い、丁寧かつ迅速な対応を心がけます。互いに学び合いスキルアップを図り、正確に業務を行うとともに、自ら考え挑戦していく人づくりを推進します。

★基本目標等を具体化する、主な事業・取組については、次頁をご覧ください。

1 魅力いっぱい！青葉ブランドプロジェクト

【主な事業・取組】	【内容】
○ 青葉の魅力発信	
・ 青葉ブランドの認定	平成 28 年度に続き、区民の皆様からご推薦いただいた美味しい店を対象に、認定委員が「青葉ブランド」として認定し、青葉区の魅力として発信します。
・ あおば美術公募展の開催	文化芸術振興を目的として「第 2 回あおば美術公募展」を開催します。区内で美術活動を行う方を対象とし、絵画作品を公募します。
・ A0BA デジタル・アートミュージアムの開設	青葉区にある多くの美術・芸術に関する資産を調査・記録し、ホームページ等で広く発信することにより、青葉区の魅力を高めていきます。
○すくすくスペース（仮称）の設置、区庁舎内待合スペース等の照明の LED 化	あたたかい雰囲気の中、快適に乳幼児健診等を受けていただけるよう、福祉保健センター 1 階のリニューアルを行います。また、省エネ・節電・照度改善の観点から、区庁舎の待合スペース等の照明を LED 化します。
○あおば大学連携の推進	青葉区と区内に所在する大学との連携をさらに促進するため、「あおば大学連携学長会議（仮称）」を創設します。
○オープンデータ化の推進	区民の皆様や民間団体等により広く活用していただけるよう、青葉区で保有する行政データをホームページ上で、二次利用が可能な形で提供します。

2 安全・安心！防災・防犯・美化プロジェクト

【主な事業・取組】	【内容】
○防災の街づくりの推進	
・ 青葉区版情報伝達システムの充実、防災マップの作成 ほか	緊急時に自動的に起動する専用防災ラジオと、情報を一斉に発信する電話システムを活用した「青葉区版防災情報伝達システム」を、より充実させます。また、様々なリスクを分かりやすくまとめた「防災マップ」を作成します。
・ 災害時要援護者の支援、災害時医療体制の充実	災害時に地域防災拠点（小・中学校）での生活が困難な高齢者や障害者のための「特別避難場所」で、避難訓練を行います。地域防災拠点における災害時に支援が必要な方の受入訓練を支援します。また、災害時地域定点診療拠点における災害時医療体制の充実に向けた取組を引き続き進めます。
○防犯意識向上のための啓発の実施	振り込め詐欺などの犯罪被害を防止するため、地域や警察と連携した防犯啓発の取組を進めます。
○地域での美化活動支援の推進	美化推進重点地区となっているあざみ野駅周辺で、ポイ捨て・歩きたばこ禁止の啓発活動を、引き続き実施します。また、ごみネットボックスの設置をはじめ、地域での美化活動への支援も継続して行います。

3 すくすく・いきいき！健やか暮らしプロジェクト

【主な事業・取組】	【内容】
○「あおばこどもシステム」の推進	
・ 子ども・子育て支援の連携強化、発達段階に応じた健全育成支援の推進 ほか	すべての子どもの育ちを支えるために、保護者や子どもを支える仕組みづくりとして、「あおばこどもシステムつながりミーティング」を設置します。また、主に転入者向けの親子まち歩きツアーや、親子講座などを行い、青葉区での楽しい子育てを応援します。
・ シニアパワーの活用による子育て支援の推進	豊富な経験やスキルを持つシニアの方と未来の創り手である子どもたちが、意見交換をしながら社会参画する活動を企画・実施し、学校と地域の連携や青少年の健全育成の更なる推進につなげます。

・障害児サポートファイルの作成	学校や医療機関、療育機関等に相談する際、適切に状況を説明し、情報を共有しやすくするために、子どもの発達や成長の記録等をひとつにまとめた「障害児サポートファイル」を作成します。
・どにち★ひろばの開催	民間企業等と青葉区が連携し、離乳食・幼児食セミナー、ボール運動教室など、参加費無料の子ども向けプログラムを土・日曜に開催します。
○青葉区版地域包括ケアシステムの推進	
・医療・介護連携の推進 ほか	青葉区版地域包括ケアシステムの推進を目指し、医療と介護の連携をさらに深めるための取組を進めるほか、要介護度を軽減させるための勉強会や介護予防にかかわる関係者間の連絡会・研修会などを実施します。
・シニアパワーの活用による地域包括ケアシステムの推進	今後急増するシニア層の活躍機会を創出し、健康・生きがい支援につなげます。区内の人材を発掘し、コミュニティビジネス起業支援、民間事業者やNPO活動団体との連携を図ります。
・介護予防の推進・介護保険制度のPR ほか	平成28年度に作成した青葉区版エンディングノート等の活用、地域の元気づくりをテーマにしたフォーラムの開催等、介護予防の取組を推進します。また、区民の皆様へ介護保険制度について広く知っていただくことを目的とし、講演会や出前講座を開催する「介護保険制度PR事業」を実施します。
○障害者支援の推進	生活支援センターでモデル的に、発達障害者に対するグループワークを月1回行うほか、支援者のスキルアップ研修を行う「発達障害者支援モデル事業」を実施します。
○大学と進める青葉の健康づくりの推進	区内の大学の教育・研究機能を生かした健康づくりの取組を実施し、区民の皆様の健康増進を図ります。
○青葉区民マラソンの開催	青葉区内の公道10kmを走る「青葉区民マラソン大会」を開催し、健康増進およびスポーツの振興を図ります。

4 彩りあふれる！花と緑プロジェクト

【主な事業・取組】	【内容】
○「フラワーネックレス青葉2017」の実施	全国都市緑化よこはまフェアの開催に合わせて、青葉区内を花と緑でいっぱいにする「フラワーネックレス青葉2017」の取組を継続して実施します。
○花と緑があふれる街づくりの推進	「フラワーネックレス青葉2017」を契機に区内に広がった地域における花と緑の取組について、花苗の配布や活動団体間の交流促進、新たな活動場所の提供等により、支援を拡充します。
○あおば地産地消の推進	平成28年度に開始した区役所での農産物直売（月1回）のほか、地産地消の魅力を紹介するリーフレットの配布等、幅広い世代に向けた地産地消のPRを行います。
○青葉エコ・スクールの実施	子どものころから環境への意識を育てていくことを目指し、市民団体と連携して区内の各小学校で「青葉エコ・スクール事業」を実施します。

5 住み続けたいまち！次世代郊外プロジェクト

【主な事業・取組】	【内容】
○青葉みらいおこし補助事業の実施	地域の皆様からの提案を受け、補助金交付、専門家派遣、区役所内の組織を横断した支援チームによる支援等を行うことにより、地域課題の解決を図ります。
○都市計画マスタープラン青葉区プラン改定	まちの将来像等を描いた都市計画マスタープラン青葉区プランの改定を行います。
○市が尾駅周辺地区バリアフリー基本構想に基づく案内サイン再整備の検討	市が尾駅周辺地区バリアフリー基本構想に基づき、わかりやすい案内サインの再整備に向けた検討を行います。

○あおばコミュニティリビングの検討	徒歩圏内で買い物や子育てなどの生活機能を充実させることにより、「歩いて暮らせるまちづくり（コミュニティリビングモデル）」を区内の各所で展開できるよう、調査・検討を行います。
○美しが丘健康づくり歩行者ネットワークの整備	地域の誰もが気軽に健康づくりに取り組めるよう、地域の皆様と取りまとめた計画をもとにウォーキングコースの整備を進めます。
○田園都市線沿線まちづくりの推進	田園都市線の各駅周辺について、地域の特性を生かした基盤整備や機能集積を適切に行っていくため、沿線全体でのまちづくり基本構想の見直しや具体化を行います。

その他主要事業（市役所と区役所が連携・協力して実施する事業）

【主な事業・取組】	【内容】
○荏田コミュニティハウス（仮称）の整備	赤田東公園（あざみ野南）で建設予定の「荏田コミュニティハウス（仮称）」の整備に向けて、実施設計を行います。
○高速鉄道3号線延伸の検討	平成28年4月の国の交通政策審議会答申を踏まえ、高速鉄道3号線（横浜市営地下鉄ブルーライン）の延伸（あざみ野～新百合ヶ丘）について、今後の事業化の判断につなげていくために、交通局が鉄道事業者の視点で検討の深度化を図るとともに、関連する交通基盤の検討を行います。
○横浜環状北西線の整備	東京2020オリンピック・パラリンピックまでの開通を目指し、青葉区内では東名高速道路の横浜青葉インターチェンジ付近で橋梁工事を進めます。
○地域防犯カメラ設置補助事業の実施	犯罪のない安全なまちづくりに向けた地域の自主的な防犯活動を支援するため、自治会・町内会等に対して、防犯カメラ設置費用の一部を補助します。
○保育所の整備	待機児童解消に向け、必要な保育所の整備等を進めます。
○放課後キッズクラブ事業の推進	学校施設等を活用し、留守家庭児童を含むすべての児童を対象にして、安全で快適な放課後の居場所を確保し、児童の健全な育成を行います。平成31年度末までにすべての小学校の「はまっ子ふれあいスクール」を「放課後キッズクラブ」へ転換します。
○ごみ問題を抱えている人への支援事業の推進	ごみをため込んでしまうなど、本人や周囲の生活環境を悪化させている場合について、当事者に寄り添った支援を進めます。

組織運営について

【主な事業・取組】	【内容】
○地域連携力を高める取組	連合自治会・町内会ごとに課長・係長を配置する「地区担当制」により、地域と連携しながら地域課題の解決に取り組みます。また、「第3期青葉区地域福祉保健計画」の推進、地域で活動する皆様が学びあう「みらいづくり大学」の実施、各地域防災拠点の運営を支援する等、様々な活動の中で地域連携力を高めます。
○チーム力・職員力を高める取組	CS・ES向上に向けた研修や各課取組、各所属における研修、組織を横断したオフサイトミーティングの実施等を通して、チーム力・職員力を高めます。また、ペーパーレスの推進や業務の効率化などワークスタイル改革に取り組むとともに、ワークライフバランスの推進により職員の心身の健康を保ち、市民サービスの更なる向上に努めます。